

## 題：地元を未来の観光地にしよう

### 背景：

山岳地帯や、地元の人しか使わない場所を活性化するためには観光スポットがあれば良い。先日私が関東地方を訪れた際に思った。長野県戸隠神社は山奥にあり、車でしか行けない場所にあるにもかかわらず、400年前に整備された杉並木を一目見るために全国から観光客が集まっていた。そこで一過性のものではない観光地をつくり、九州を訪れる人を増やしたいと思った。

### 内容：

- ・九州の活性化を目指す土地に、未来の並木道となる木の苗を植樹する。  
木は成長を続け、歳を重ねるごとにその価値も増してゆく。  
後世に観光地としての遺産を遺せる。  
木陰を多く作る事によって、夏には避暑地となり好まれやすい。
- ・完成したときに一番きれいに写真が撮れるであろう撮影スポットを決める。  
撮影スポットを作るだけで観光地らしくなる。  
始めて訪れる人には観光の指標になり、遊びやすくなる。  
木が生長する過程がわかりやすくなり、リピーターが増える。
- ・散策コースを複数作る。  
険しい道は若い人、子供向け。  
平坦な道はお年寄り、ランニングコース。  
複数作る事で、一日で回りきれなくし滞在時間を長くする。

この計画は即効性はあまり無いが、未来に夢を託せる事業だと思う。



写真：長野県戸隠神社